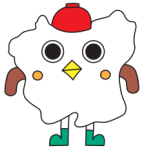


登米の力 とめのちから 登米の地から

発行準備号 発行日12月7日



日本一はっとフェスティバル & 登米無双2

地方振興部

12月3日（日）に登米市役所迫庁舎前の迫中江中央公園（登米市迫町）で「第14回日本一はっとフェスティバル」が今年も開催されました！

「はっと」とは、登米地域の郷土料理で、小麦粉を練った生地を茹で、様々な味付けで食べるものです。特に、「はっと汁」は寒い季節にぴったりです。

そんなはっと料理が30種類以上集まり、様々な味を堪能することができました。その中から、来場者による投票で「はっと大賞」が決定し、グランプリには「牛スジはっと」、準グランプリに「油麩と舞茸の鶏つみれ入りはっと」、第3位には「赤豚カレーはっと」が輝きました。



グランプリを受賞した「牛スジはっと」



当日は天気にも恵まれ、2万9千人の来場者にお越しいただき、たくさんの方々にはっとを味わっていただきました。また、会場では、はっと踊りや太鼓の演奏などのステージイベントも開催され、笑顔が絶えないイベントとなりました。



登米市のPR動画、第2弾の「登米無双2」が11月7日から公開されています。「登米無双2」は、第1弾のPR動画「Go!Hatto 登米無双」との連続性を意識したストーリーとしつつ、登米市シティプロモーションキャッチコピー「うまし、たくまし、登米市」に込められた、登米市の「食の恵みと豊かさ」、「地域の繋がり」や「たくましく生きる活力」、「登米市の生活感」を知っていただける内容となっております。

登米市シティプロモーションWEBサイトより、動画をご覧になり、登米市の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

■動画公開先

登米市シティプロモーションWEBサイト

<https://tome-pr.jp/>

登米市の生産者が、 農林水産大臣賞を受賞！

農業振興部

10月14日（土）から15日（日），宮城県庁にて、「平成29年度宮城県農林産物品評会及び花き品評会」が開催されました！8月以降の連日の記録的長雨という悪天候にも関わらず，登米市内から計34点の出品がありました。

このうち，水稲と果実の2部門で農林水産大臣賞の受賞など，計8点が入賞されました。

農林水産大臣賞を受賞したのは，千葉利広氏と猪股剛氏のお二人です。

水稲部門（品種：ササニシキ）で受賞を果たした，千葉利広氏は，JAみやぎ登米豊里稲作部会に所属し，「環境保全米（減農薬減化学肥料）こだわりのササニシキ復活プロジェクト」に参画しています。今年は，その成果としての，見かけも食味も良い米づくりが評価されました。



農林水産大臣賞を受賞した千葉利広氏と猪股剛氏（向かって右から）



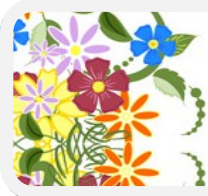
果実部門（品種：シナノスイート（りんご））で受賞を果たした，猪股剛氏は，現在は叔父が経営する「後藤りんご園」でりんご作りに励んでいます。一樹に着果させる果実を制限し，降雪ギリギリまで樹上で完熟させる，数より味にこだわった生産物が評価されました。

そんなお二人が10月26日（木）に，東部地方振興事務所登米地域事務所長を表敬訪問していただき，今回の受賞報告等について語っていただきました。

お二人とも平成26年度に続く2度目の受賞ということで，3度目の受賞を目指し，決意を新たにしておられました。



登米地域事務所長（真中）を表敬訪問した千葉利広氏と猪股剛氏



第11回全国和牛能力共進会 宮城大会

第2区で日本一！

東部家畜保健衛生所



小野寺正人氏と出品牛「さいぜんれつ」（47号）



第11回全国和牛能力共進会宮城大会（以下「全共」）が、9月7日（木）から11日（月）の5日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催されました！

当大会は、5年に1度開催され、全国から優れた和牛が一堂に会する「和牛のオリンピック」と呼ばれています。全共第2区では、登米市の小野寺正人氏の出品牛「さいぜんれつ」号が日本一にあたる優等賞1席を獲得しました。これまでの大会で当県出品牛が優等賞1席を受賞したことはなく、県勢初の日本一となりました。

さらに、当県の都道府県別総合順位は、多くの出品牛が上位入賞したこともあり、過去最高の4位となりました。

大会期間中、会場の夢メッセみやぎを訪れた入場者は41万7千人に達し、週末を中心に多くの来場者でにぎわいました。中でも仙台牛など全国銘柄牛の試食コーナーや仙台黒毛和牛のバーベキューコーナーは、大人気で終日行列が絶えませんでした。

また、会場内では様々なイベントが実施され、特に『和牛振興PR館』では、和牛の立体パズルの体験やクイズを通じて、子どもたちに畜産に関する知識を楽しく学んでいただきました。



水の恵みカードってな～に？

農業農村整備部

宮城 **コメ** イネ科 イネ属

こかそんぼり
五ヶ村堀地区の環境保全米
宮城県登米市



仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸

ポイント解説
環境保全米(特別栽培米)は、環境に負担をかけないよう、農業や化学肥料の使用量を慣行栽培の半以下に減らしたお米です。
宮城県内の環境保全米の作付け割合は、県全体の約4割であるのに対し、登米市では市全体の約8割となっており、地域全体で環境保全米に取り組んでいることがわかります。

詳しい情報は [農林水産省水の恵み 検索](http://www.miyagitome.or.jp/product/rice.html)
●JAみやぎ登米
<http://www.miyagitome.or.jp/product/rice.html>

Ver.1.0(2017.10)

水の恵み施設 **DC** **DP**

こかそんぼり はいすいぼり
五ヶ村堀排水機場



五ヶ村堀排水機場の基本データ **DP**

- 場所：登米市米山町
- 形式：横軸斜流ポンプ
- ポンプ口径φ1,650mm×3台
- 施設規模：排水量18m³/s
- 排水流域面積：35.8km²
- 受益面積(農地)：21.3km²

きっかけ
県営かんがい排水事業で設置された低位部・高位部排水機場は、築造後40年経過し排水機能が低下していました。そこで県営水利施設整備事業五ヶ村堀地区(平成22年度～)により二つの排水機場を統合した、五ヶ村堀排水機場が建設されました。これにより農地の排水機能を向上させ、農業経営の安定や、食料自給率の向上を目指しています。

一口メモ
宮城県登米市は宮城県の北東部に位置し、市のほぼ中央を迫川(はさまがわ)、東側を北上川が貫流し、肥沃な登米耕土(耕地面積:178km²)を形成しています。当地域は降雪が少なく穏やかな気候で、市内の「伊豆沼・内沼」は、ラムサール条約指定登録湿地であり、渡り鳥が訪れる「水の里」でもあります。(36)

「水の恵みカード」は、農作物の生産に対する農業用水の大切さや、その農業用水を農地まで届けている農業水利施設の存在と役割を一般の消費者に認識してもらうため、地域ブランドとして定着した新鮮な農作物とその生産を支える農業用の水路や堰等の農業水利施設をわかりやすく紹介するものです。宮城県では、5枚の「水の恵みカード」を作成いたしました！

登米地域のカードは、「道の駅米山 ふるさとセンターY・Y」と「東部地方振興事務所登米地域事務所」で無料配布しています。興味のある方は、ぜひ、手にとってみてください！

東和町米川で植樹祭開催！

林業振興部

宮城県・登米市・米川生産森林組合の主催で、植樹祭「市民参加の新たな森林づくり・秋」が登米市東和町米川の米川生産森林組合有林で開催されました。

米川小学校の全校児童、南三陸町被災者、一般参加者、県・市・生産森林組合等、約170名が参加し、ヤマザクラとヤマボウシの苗木600本の植樹、コナラのどんぐりの種まきを行いました。

植樹祭に参加した皆さんは、昼食に登米市の環境保全米のおにぎりと米川生産森林組合のまいたけ汁を美味しく味わっていました。



発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所(地方振興部)

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522